（様式２-1）

**学会認定難病看護師　　実践報告書**

**■難病患者の医療提供に関わる看護実践**

**■難病患者と家族の療養支援に関わる看護実践**

**■難病患者と家族を取り巻く体制整備(教育・人材育成含む)に関わる看護実践**

上記の看護実践の内容について、事例を通して説明・報告してください。

報告は、No.1とNo.2の2事例の提出が必要です。下記の様式の項目に従って、それぞれ1事例につき2ページ程度にまとめてください。実践事例の情報に関する本実践報告書への記載については、必要に応じて所属機関の承諾を得てください。

**記載にあたっては倫理的配慮を行い、個人が特定されないよう匿名性を確保してください**

**実践事例報告（No.1）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名**

|  |
| --- |
| **１．実践報告の焦点**（✔をつけてください） |
| * 医療提供　　　　　　　　　□療養支援　　　　　　　　□体制整備（しくみづくり）
 |
| **２．看護実践上の課題**　(取り組んだ事例の看護上の課題／看護課題・テーマ) |
|  |
| **３．事例の概要**（患者／患者及び家族／看護職や介護福祉職・地域や病院施設、事業所　等） |
|  |
| **４．状況分析**（アセスメント・課題の明確化） |
|  |
| **５．看護方針**（介入の方向性・期待される成果・目標） |
|  |
| **６．看護実践内容及び経過**（あなたが実際に行った事実・時間経過及び因果関係を考慮する） |
|  |
| **７．看護実践の帰結**（実践活動によりもたらされた結果） |
|  |
| **８．一連の看護実践を通して、あなたが専門的な関わりとする点とその理由** |
|  |
| **９．一連の看護実践を通して、あなたが更に学びを深めたい点とその理由** |
|  |
| **10．本事例報告に関する倫理的配慮** |
|  |

※この書類は、認定制度以外の目的では使用いたしません。（日本難病看護学会）

※様式の幅は、適宜増減し、全体として2頁程度としてください

（様式２-2）

**実践事例報告（No.２）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名**

|  |
| --- |
| **１．実践報告の焦点**（✔をつけてください） |
| * 医療提供　　　　　　　　　□療養支援　　　　　　　　□体制整備（しくみづくり）
 |
| **２．看護実践上の課題**　(取り組んだ事例の看護上の課題／看護課題・テーマ) |
|  |
| **３．事例の概要**（患者／患者及び家族／看護職や介護福祉職・地域や病院施設、事業所　等） |
|  |
| **４．状況分析**（アセスメント・課題の明確化） |
|  |
| **５．看護方針**（介入の方向性・期待される成果・目標） |
|  |
| **６．看護実践内容及び経過**（あなたが実際に行った事実・時間経過及び因果関係を考慮する） |
|  |
| **７．看護実践の帰結**（実践活動によりもたらされた結果） |
|  |
| **８．一連の看護実践を通して、あなたが専門的な関わりとする点とその理由** |
|  |
| **９．一連の看護実践を通して、あなたが更に学びを深めたい点とその理由** |
|  |
| **10．本事例報告に関する倫理的配慮** |
|  |

※この書類は、認定制度以外の目的では使用いたしません。（日本難病看護学会）

※様式の幅は、適宜増減し、全体として2頁程度としてください